

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユニバースゆず		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い療育を提供しており、個々に合わせたカリキュラムを設定している。	脳機能全体を向上させるカリキュラムを個々の様子や成長度合いに応じて提供している。	個々をしっかりと見ながら、職員間で密に共有し合い、最適なカリキュラムを準備する。
2	SSTで学んだことを実践できる場を設けている。 (受け答えの方法、買い物の仕方、切符の階方、注文の仕方などなど・・・)	個々の「苦手」「得意」を理解した上で、最適なSSTを提供している。	失敗を繰り返しながら成功体験を積んで、自己肯定感を高める工夫や取り組みを行っている。
3	マンツーマンの個別のカリキュラムに加えて集団の中での個別支援を行うことで、集団行動に繋げている。	利用者に「どう思うか」「今何をすべきか」など、周囲に目を向け自身で気付けるように、考える習慣をつけている。	自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞く機会を増やしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を設ける機会が少ない。	2025年2月より新事業所に移転し、広がったことで定期的な開催ができる見込み。	保護者交流会だけでなく、勉強会も行いたい。
2	保護者への非常時、災害時、避難訓練などの周知など、情報発信不足。	非常時、災害時、及び年に2度避難訓練を行っていますが、発信が不足している。	公式ラインで周知するなど、情報発信していきたい。
3	高学年に向けたカリキュラムが少ない。	未就学児～概ね小学3～4年生までに最適なカリキュラムを用意しているため、高学年向きではないのかもしれない。	0～18歳まで幅広い年齢層を受け入れるわけではなく、ターゲットをある程度絞ることで、専門性の高い、また効果的なカリキュラムとなっている。